

2025 年度

学校名 京都府木津川市立木津小学校

対象学年 第3学年

① 学習指導案

プログラム	No.8 「 わたしたちのまちに言葉の贈り物 」
単元名 (全70時間)	「わたしたちのまちに言葉の贈り物」 伝えよう！守ろう！木津の宝
学習のねらい	木津に残る伝統文化を調べたり、自然体験活動を行ったりすることで、木津に残る文化や環境のよさに気付き、守っていこうとする態度を育てる。 また、文化や環境を守る人々の思いや努力を知ることで、自分たちがその思いを引き継ぎ、未来を創っていく地域の一人としての自覚を持たせる。
学習内容	1 木津川市について調べたいことを整理し、課題を設定する。 2 体験活動やインタビュー等を通して情報収集する。 3 情報を整理し、発表準備をする。 4 発表や交流等を行うことで、考えを深めたり、発表内容を改善したりすることを通して、自分たちにできることを考え実行する。
参考資料 準備品 実施場所等	わたしたちの木津川市 電子黒板、デジタルカメラ、バケツ、網、ライフジャケット、軍手、スコップ、水槽等 音楽室・教室・体育館・木津川の支流・木津高等学校

学習の流れ

時間	学習活動	教師の指導	評価
1～ 20	○地域の自慢について考える。 ○課題設定をする。(木津小学校・木津川・木津御興祭) ○様々な人に、「木津小学校」の歴史についてインタビューしたり、調べたりして得た情報を整理する。 ○未来の「木津小」のために自分たちにできることを考える。	○地域について調べたいことを話し合う中で「木津小学校」「木津川」「木津御興祭」に興味をもてるようにする。 ○「木津小学校」について知ったことをもとに、未来の「木津小学校」のためにできることを考えさせる。	○木津川市の宝について、探究的活動に進んで取り組もうとしている。 ○調査活動を目的や対象に応じ適切に実施している。
21 ～ 60	○「木津川」について調べたいことを考える。 ○木津川支流で生き物を観察したり、河川レンジャーの方の話を聞いたりして情報を収集し、整理する。 ○まとめたことを高校生に発表し、アドバイスをもらう。 ○教えてもらったことをもとに発表資料を改善し、5年生に発表する。 ○木津川に生息する生き物を守るために自分たちにできることを考える。	○「木津川」について調べたいことを話し合う中で、生き物について興味をもてるようにする。 ○河川レンジャーの方に質問したいことを考えさせる。 ○生き物のとり方や生態について教わりながら体験活動できるようにする。 ○木津川の自然を感じられるようにする。 ○相手に伝わるように発表資料を作成したり、アドバイスをもとに資料を改善したりできるようにする。 ○生き物を守るために自分たちにできることを考えさせる。	○課題解決に向けて、収集した情報を整理して考えたり、伝える相手や目的に応じて、わかりやすく表現したりしている。 ○自分と違う友達の考えを生かしながら、協働して課題解決に取り組もうとしている。
61 ～ 70	○「木津御興祭」について課題を設定する。 ○保存会の方の話や調べてわかったことを整理する。 ○御興祭を守るためにできることを考える。 ○未来の「木津川市」のために自分たちができることを考え、活動する。	○「木津御興祭」について調べたいことを話し合う中で、伝統行事への関心を高め、インタビューしたり、調べたりできるようにする。 ○伝統行事を守るために、自分たちにできることを考えさせる。 ○1年間の学習を振り返り、地域の一人として、未来の「木津川市」のために、今、自分たちにできることを考えさせる。	○地域の一員であることを自覚し、地域のためにできることを考えて積極的に関わろうとしている。

<留意点>・共通体験をもとに、自分事としてとらえながら、活動できるようにする。

総合的な学習の時間 年間計画【3年生】（70／70時間）

月	4月	5月	6月	7月	8・9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
探究課題	木津の宝を守る人々											
単元名	伝えよう！守ろう！木津の宝											
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・木津に残る伝統文化を調べたり、自然体験活動を行ったりすることで、木津に残る文化や木津川の環境のよさを気付き、守っていくこととする態度を育てる。 ・文化や環境を守る人々の思いや努力を知ること、自分達がその思いを引き継ぎ、未来を創っていく地域の一員としての自覚を持たせる。 											
計画	<p>室 I 木津小学校の歴史を調べよう（20h）</p> <p>【学習活動（小単元1）】</p> <p>【体験活動・課題設定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○木津川には、どんな自衛隊があるのかを出し合う。 ○木津小、木津川、木津御祭りの3つの課題を立てる。 <p>【情報収集】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○校長先生や卒業生のお話を聴いたり、インタビューする。 ○木津小学校の昔の校舎の模型や歴史が分かる写真を見たり調べる。 ○愛旗にアンケートをとる。 ○木津小学校のよいところ、木津小学校への思い など <p>【整理分析】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○課題解決に向けて、観点を合わせ情報を整理し、考えている。（思・判・表） ○自分と違う友達や考えの考えも生かしながら活動して課題解決に取り組もうとしている。（主体） <p>【まとめ・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○伝える相手や目的に応じて、自分の考えをまとめ、適切な方法で表現している。（思・判・表） ○木津小学校の姿について話し合い、そこから自分たちができることを考える。 <p>【評価・振り返り】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学習を振り返り、木津小学校への思いかどどのように変わったかについて自分自身をみつめる。 ○「宝Ⅱ 木津川」の学習への意欲を高める。 			<p>室 II 木津川を調査しよう（35h）</p> <p>【学習活動（小単元2）】</p> <p>【体験活動・課題設定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○木津川の自然・木津川に棲む生き物・木津川に棲む生き物 ○木津川に流れ込んでいる川（井間川・鹿川・小川）があることを理解し、目的を意図し、解決の見通しをもつて計画を立てている。（思・判・表） ○木津川交流、鹿川の水中生物を調査する。 ○ガサガサ体験 <p>【情報収集】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○深川管内河川レンジャーなど、木津川を守る活動をしている人々の存在を知り、質問したいことを考える。 ○木津川を守る人々の思いや努力についてインタビューする。 ○木津川を美しくする会、深川管内河川レンジャー、木津高水塔館館長、木津高校生 ○木津高水塔館（地域の川や近隣の海の水中生物を展示）を開催している木津高校の人たちに、調査結果について聞いてもらい、自分たちが調べては調べきれなかったことについて教えてもらう。 ○深川管内河川レンジャーや市こどもエコクラブなど、専門の方から学ぶ。 <p>【整理分析】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「めざせ、河川レンジャー」を合言葉に、調べたい生き物についての情報を、インタビューや体験したことを基に整理する。 ○生き物について調べ、まとめる。 ○川を守る取組についての情報を整理し、まとめる。 <p>【まとめ・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学習したことを基に気付いたことや考えたことをまとめる。 ○木津川のために自分たちができていることを考える。 ○自分たちについて話し合う。 ○木津高校生や木津川を守る活動をしている人々に教えてもらったことも付け足して、生き物の真実についてまとめ生き物新聞を作成させる。 ○生き物のことや木津川を守るための活動について、木津川のために自分たちができていることについて発表させたものを5年生に発表し評価を得る。 <p>【評価・振り返り】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学習を振り返り、木津川の豊かな環境が生き物の命をなくくんでいること、木津川があることの価値について考えを深める。 ○木津川の環境を守ろうとしている人々の活動から、「木津の宝」を守ろうとしている人々に関心をもち、「宝Ⅲ 木津御祭りの」学習への意欲を高める。 			<p>室 III 木津御祭りを知り未来につなげよう（15h）</p> <p>【課題設定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○4年生に木津御祭りについて紹介してもらい、木津御祭りのよさを伝える課題を自らつくり、解決に向けて見通しをもっている。（思・判・表） ○木津御祭りへの人々の思いを知りたいこと、どんなことを調べたいかを話し合う。 <p>【情報収集】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○木津御祭りに受け継がれている人々の思いや努力についてインタビューしたり、祭りのやり方を教えてもらったりする。 ○木津御祭りを保存会 <p>【整理分析】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○御祭りに必要情報を手帳やノートに収集し、蓄積している。（思・判・表） ○木津川の生物は、互いの特徴を生かしながら環境と関わって生きていることを理解している。（知・技） <p>【まとめ・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○必要な情報を取捨選択したり、複数の情報を比較したり関係付けたりしながら、相手や目的に応じて分かりやすく表現している。（思・判・表） ○川の流れとそこに生きている生き物との関係に気付いている。（知・技） <p>【評価・振り返り】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○課題解決に向けた自己の取組を振り返ることを通じて、自分と違う人々の思いや考えの思いや考えの思いをみつめる。 ○「宝Ⅱ 木津川」の学習への意欲を高める。 					

② 事業実施報告書詳細 (別紙)

学校名 木津川市立木津小学校

③ 実施内容について

(1) 実施にあたり工夫した点

- ・社会科の地域学習で、自分の住んでいる地域にどんな自慢があるかを話し合う中で、児童から出てきた「木津小学校」「木津川」「木津御輿祭」の3つについて、総合的な学習の時間で取り組んだ。
- ・実際に話を聞いたり、川に入って生き物を観察する体験等をしたりすることを通して、地域を身近に感じ、地域のよさに気付くことができるようにした。
- ・川の生き物について学んだことや調べたことを近隣の高校生に発表し、感想やアドバイスをもらえたことで、さらに意欲をもって発表内容を改善できるようにした。
- ・改善した内容を5年生に発表し、意見交流することを通して、考えが深まったり、さらに疑問をもったりする機会となるようにした。

(2) 実施にあたり苦労した点

- ・ゲストティーチャーとの日程調整
- ・川に入っている生き物観察の際の、熱中症対策や安全対策

(3) 児童の反応

- ・自分たちでつくった課題であったため、とても意欲的に取り組むことができた。
- ・様々なゲストティーチャーから話しを聞く機会があり、児童の興味関心が高まった。また、多様な見方や考え方につながった。
- ・実際に川に入って生き物観察をしたことで、木津川に生息する生き物についての興味や関心が高まった。また、体験当日お世話になった「河川レンジャー」の方から、生き物について教えてもらったことがきっかけとなり、もっと自分で調べてみたいという思いが高まった。
- ・木津川に様々な生き物が生息していることを実際に見て、これからもこの環境を守っていききたいという思いをもった児童が多く見られた。
- ・「木津御輿祭り」についてゲストティーチャーや市役所の方の話を聞くなかで、祭りの意味や伝統を受け継いでいる人の思いや努力を知り、祭りを守るために自分にできることは何かを考えることができた。

(4) 担当教諭及び担当外教諭の変化

- ・共通体験をもとに、調べ学習を行うことで、児童の学びがより深まることに気付くことができた。
- ・体験や調べ学習の際に、様々な関係機関の方の協力を得て進めることで、児童だけでなく、教職員の視野が広がり、学習計画を改善しながら取り組むことができた。
- ・学習のサイクル(課題設定、情報収集、整理分析、まとめ・表現)が定着した。

(5) 今後の課題と取り組み(児童の思考過程と指導内容との関連付けから、留意すべき事項等)

- ・児童が積極的に発信することで、保護者・地域住民とともに「まちづくり」について考える機会とする。
- ・3年生で学んだことを今後の学習に結びつけて考えられるようにする。